

環境・健康・安全 に対する取り組み

東京エレクトロンは、人々の健康と安全を最優先し、地球環境の保全に配慮することを、事業活動を行う企業として重要な使命と考えています。

環境負荷低減の取り組み

ライフサイクル・アセスメント（LCA）の実施

装置の原材料から製造、装置運搬、装置使用、廃棄までのそれぞれの工程における環境に対する影響を定量的に評価するライフサイクル・アセスメントを実施しております。特に負荷の大きい装置使用時のエネルギー使用量については、さらに超純水、電力、排気などの項目別に解析し、それぞれの項目ごとに装置の改良や新製品の開発に活用しております。

グリーン調達

当社は半導体製造装置の生産において、原材料や部品を外部のサプライヤーから調達しています。よって原材料のグリーン調達に関しては、サプライヤーの環境負荷低減への協力が不可欠です。東京エレクトロングループは「グリーン調達ガイドライン」を制定し、全国のサプライヤーに配布し、グリーン調達の説明会を開催いたしました。また、サプライヤー教育のためのトレーナー養育プログラム導入や教育の仕組み作りにも積極的に取り組んでおります。

化学物質管理

半導体製造プロセスにおいては、さまざまな化学物質を使用していますが、これらは取扱いによっては、環境汚染を引き起こす可能性のあるものもあります。東京エレクトロングループは化学物質による環境汚染を未然に防止するために化学物質の導入から使用および廃棄に至るまで、環境や安全に配慮した厳密な管理を行っています。各事業所では新規に化学物質を導入する前に十分な情報を入手し、取り扱い条件の設定、有害物質の代替・削減に努めております。

環境会計の導入

東京エレクトロングループは、企業活動のうち環境保全に関わるコストを定量的に把握し企業活動の指針として活用するために2001年3月期より「環境会計制度」を導入しています。この内容は「環境報告書」にて詳細にご覧いただけます。2003年3月期の環境報告書は2003年秋頃発行予定です。

安全への取り組み

従業員、お客様をはじめ当社に関わる全ての人々の「安全」と「健康」を第一に考え、1998年に「東京エレクトロングループの安全／健康に関する基本理念／方針」を定めています。この中では、各種業務の遂行において安全や健康に対する配慮を常に念頭において行動する責務が従業員に課せられていることが明示されています。この理念／方針の徹底のために、協力会社社員を含む社内外で働く全従業員が、基礎安全教育の受講を義務付けられ、業務分担に応じてさらに高度な安全教育などを受講するという安全教育プログラムを推進しております。